



くらしの情報

令和元年度 消費者のつどい



令和元年10月18日、4地区のトップをきり開催。歴史のわりに低い知名度の当協会。日々の生活そのものの活動を広く広く周知したいと、メインは浜内千波氏の「食品ロスと地産地消」に。すぐに実践できるお話に南部会員以外の参加者も含め盛況だった。1年間の準備、前日からの会場設営等会員の持ち味が發揮され一歩前進!!

(阿南市 長久 生實)



令和元年11月16日にとくぎんトモニプラザで、180名の参加者で盛大におこなわれました。歓迎セレモニーは、日舞「獅子頭」でスタート。記念講演は「地球温暖化は私たちの暮らしをどう変えるのか」と題した佐藤由美氏のお話を伺い、活動発表は、神山町、徳島市、石井町から発表があり、次回神山町で再会を約束し終了しました。

(徳島広域 鈴木 秀夫)

南部地区

10月18日

東部地区

11月16日

**10月19日
西部地区**

**10月24日
北部地区**



令和元年10月19日約200名の参加者のもと、「ともに築こう豊かな消費生活～誰一人取り残さない～2019」をテーマに開催。竹太鼓の演奏で始まり次第通りに進行。「相続の基礎と保険のはなし」の基調講演で締め括った。今回、昼食のカットを試みたが問題点もなく無事川島町へとバトンタッチが出来安堵した。他市町村の会員の皆さん方に心から感謝を致します。（美馬市 田中 建子）

令和元年10月24日阿波市役所3階大会議室に於いて、北部地区消費者のつどい（テーマ「ともに築こう豊かな消費社会～誰一人取り残さない2019～」）に会員約120名の参加のもと、寸劇や活動発表・パネル展示・物品販売と交流を深め、又記念講演を通して今後の取り組みの道標を示して頂きました。

(阿波市市場 後藤 春枝)

発行 ● 特定非営利活動法人徳島県消費者協会

TEL(088)625-8285(代) FAX(088)625-8312 E-mail nposhouhi@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は、資源の有効利用のため再生紙を利用しています。



東部地区

徳島市

環境汚染の深刻な状況の報道がされ、未来に美しい地球を残そうという意識が浸透しつつあるのか（私達の希望でもあります）それともレジ袋有料制が奏功したのか、マイバッグキャンペーンを行ったキヨーエイ住吉店、タクト店では大半の方がマイバッグを持参していました。暮らしの広場228号には～私達が生活の中で出来る事～◎電気、ガス、水道等省エネを心掛ける◎買いすぎない、食べ物は残さず食べる◎使い捨てを止める◎エシカル消費をする◎高齢者の見守りに参加する一改めて心して読み直しました。秋には楽しい研修旅行、2月にはおいしい料理教室がありました。どうぞ皆様魅力的な消費者協会にどんどん会員を誘って下さい。



（小谷 雅子）

徳島広域

県内各地から集まり、2か月毎の例会で協会の情報の伝達、交換をする。その後、学びの講座を行ない知識を深める。年2回の研修旅行や忘年会で会員相互の交流をする。今年春、広島の世羅ゆり園、



ジャム工場の見学。秋は家電リサイクル工場の冷蔵庫や洗濯機、エアコンがどのように分別されているか？製品や型毎にネジなどの位置が違う為、大勢の人が丁寧に手間をかけ解体。再利用を目指し種類別に分別している事に驚いた。見学後、絶賛の感想が寄せられた。リサイクル料を払う意味が理解できた。

（西岡 節子）

大学校OB会

2月8日、消費者大学校OB会の新年会が催され、会長挨拶ではOB会として最後の新年会となり、4月からは県の運営に移行される旨の説明があり、消費者大学校で学んだことを活かし、賢

い消費者になろうと誓った。食事、ゲーム等を楽しみ、プレゼント交換では、添えられたメッセージが読みあげられた。中でも、昭和、平成、令和と三時代を生きてこられたことに感謝し、人生の最終章に向かって今一度我が身を振り返り、自分らしく終活も考え、有意義に過ごしたい！との言葉が身に沁みた1日でした。

（久保 福子）

南部地区

海陽町

海陽町消費者協会は、昨年6月に総会を開催。講師に森本尚子先生を迎えて「エシカルとSDGs」（国際社会の指標・持続可能な開発目標）を学んだ。誰も置き去りにしない社会、貧困と格差をなくそう、気候変動、海や陸の豊かさを守ろ



う等。企業や自治体も改善を進めているが、私達ひとりひとりが自分のこととして努力していくかなければと痛感した。6月・10月・12月は振り込め詐欺防止キャンペーンを実施。9月は遊山箱を作成。それぞれが自分の好きなデザインを描き、素晴らしい出来映えで、2月に町の博物館で展示し、好評だった。

（三間 幸子）

西部地区

鴨島町

恒例の一日研修は32名が参加し、岡山市の廣榮堂本店工場を見学しました。道中のバス内では、研修担当が消費者大学校で学んだ消費者トラブルやエシカル消費、SDGsを具体的に解りやすくクイズ形式で勉強しまし



た。特に、エシカル消費については、何種類かの食品マークやその意味を学び、実際に食品マークのついた商品を全員に見てもらい、知識を共有しました。クイズの景品には、やしの実洗剤や白い石けん等を配り、往復とも車酔いやおしゃべりする間もなく、楽しい道中でした。（渡邊美智子）

川島町

川島町消費者協会では、令和元年11月27日川島公民館に32名のメンバーが参加し、徳島県食肉事業連のご支援を得て「肉料理教室」を開催いたしました。

肉料理のレシピは、「豚もも肉とトマトのマリネ」「ポトフ（牛すね肉と野菜の煮物）」の2品です。高タンパク、低脂肪で、好評なレシピでした。

この「肉料理教室」では、徳島県栄養士会の木村先生、大西先生から「栄養成分表示の活用について」ご指導をいただき、「一日に“何を”“どれだけ”食べればよいか？」「適当な運動とバランスのとれた食事で生活習慣病を予防する」など、食事の大切さを勉強でき、大変有意義な料理教室がありました。



（大久保光江）

つるぎ町

つるぎ町消費者協会所属の「漫才コンビしゃくなげ」は、平成24年11月に初舞台を踏みました。井戸端会議になってしまいますが、そんな話の中から複雑で巧妙な手口の悪徳商法等のネタで、高齢者の被害防止に繋がるよう、女性ならではの視点を大切に活動しています。主に各地区のいきいきサロンや集会の時に披露しています。そこにお集まりの皆さんとのお喋りが漫才のネタの参考になることが多く、勉強させてもらっています。お声がかかれば、町外にも出向いています。これからも私達の漫才で高齢者の皆さんのが被害に遭わない事を祈りながら、活動を続けていきたいと思います。（遠藤 卓子）



（遠藤 卓子）

三好市

令和2年1月21日、午前中、県立防災センターで、地震、煙、風雨、消火等の防災体験により、自分を守る具体策を学びました。当日は、徳島市立川内保育園児達との体験会でしたが、震度7の体験は大変怖い記憶が後々まで残りました。

午後は大塚製薬徳島板野工場の医薬品棟で錠

剤ができる工程を見学し、循環型社会の構築をめざして、ゼロエミッションの



取り組みを行い、事業から排出される廃棄物を資源として、再利用されているとの説明を聞き、感銘を受けました。

今回の視察研修は、快晴に恵まれ、会員相互の交流で、和やかな1日でした。（内田 勝子）

東みよし町

令和元年10月30日、徳島グランヴィリオホテルで行なわれた食品ロス削減全国大会に参加しました。熱気あふれる会場で、現在の食品ロスの多さに驚いたのと、様々な事例、取り組みをお聞きして改めて生活の中のあたりまえを疑って、自分で出来ることから少しづつ取り組んでみようという気持ちになりました。また、3月には日頃分別に迷うような紙類を持ち寄り実際に分別を体験したり、「しまんと新聞ばっぐ」の高橋久美さんを講師にお招きして、新聞バッグを作る研修会を予定しています。最近は新聞もカラーのきれいな紙面がたくさんあるので、カラフルな素敵なおリジナルバッグが出来るのが楽しみです。



（藤本千代子）

北部地区

板野町

本年度から消費者大学卒業生の小林清重氏を会長にむかえ、組織も一新しました。

11月26日町民センターで食肉セミナーを開催。徳島県食肉生活衛生同業組合様のご協力によるもので、栄養士・スタッフ4名、お米その他材料すべて用意してくださいました。説明の後早速ポトフ作り。

牛すね肉をたこ糸で結ぶのがむずかしかったですが、じゃがいも・人参等野菜を加えて50分煮込むと上手にでき上りました。試食のときには、「おいしい。早速家で作ってみたい。」という声も聞かれ、楽しいセミナーでした。



（佐藤 貴子）



上板町フードドライブ活動 「あまたの食品を必要な人へ」

上板町消費者協会 坂東 榮子

上板町消費者協会は、平成31年4月の上板町エシカル宣言を機に、活動の一環として「食べ物もったいない運動」を展開し、食品ロス削減に向けた新たな取り組みとして、フードドライブ活動を行いました。この活動は消費者協会が中心となって上板町と連携し、町民、町内各小中学校の児童生徒、保護者の方々に呼びかけを行い、家庭で余っている食品を持ち寄っていただく取り組みで、用意した専用のボックスには、数日間で多くの食品が持ち寄せられました。活動にご協力をいただいた皆様に、心から感謝とお礼を申し上げます。また、提供された食品はフードバンクとくしまに寄付させていただき、福祉施設等に提供されました。

なお、食品ロスは今般の大きな問題として取り上げられ、昨年食品ロス削減推進法が制定されました。こ

の法律は、国民の意識の変化と自発的な食品ロス削減への取り組みを促しており、消費者の行動が問われる時代になったと言っても過言ではありません。

この度のフードドライブ活動では、家庭で余った多くの食品が集まりましたが、活動本来の趣旨は「家庭で余らない」ことであり、上板町の皆さんのが「必要な分だけ買う」「全部使い切る」「作れば残さず」「余れば別の物に」「食べられる分だけ注文する」の「もったいない」意識を持っていただくことが目的です。各家庭の意識した行動に期待したいものです。

最後に上板町消費者協会は、さらに上板町と連携し、食品ロスの削減への意識の高揚と効果的な取り組みを行ってまいりますので、皆様には引き続きご支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

情報掲示板

徳島県消費者情報センター

●掃除機を注文したらサングラスがきた！

「ネット通販で、海外メーカーのスティック型掃除機が激安だったので注文したら、中国からブランド物のサングラスの偽物が届いた」という相談がありました。

相談者はSNSの広告から繋がったサイトで注文したということでした。他にも「ソファーを注文したら帽子が届いた」とか、「ロボット掃除機を頼んだのにベルトが届いた」など、注文した物と全く違う商品が届いたという相談が増えています。

これらの通販サイトは国内のサイトを装っていますが、実は海外のサイトであることが多い、住所はでたらめで連絡先もメールアドレスのみで、メールをしてもまともな返信は期待できません。

ネット通販を利用する際は、運営者情報が正確か、実在するか、日本語が不自然でないか、極端な値引きがされているか等チェックし、怪しいサイトでの購入は控えるようにしましょう。

(メールマガジン12月17日配信)



レジ袋利用実態調査

レジ袋の有料化が進む中、171世帯（465人）の協力をいただきました。一人平均1か月4.7枚使用（前年度比54.3%削減）。全国平均は20枚。

12/4

一日研修旅行



12月4日、33名の参加で、愛媛県今治市方面に行きました。

新鮮な魚介類をふんだんに使った「大潮荘」での昼食の後、「糸山公園展望台」でしまなみ海道の来島大橋を望み、産直市「さいさいきて屋」で買物。最後に「タオル美術館」に行きました。小雨が降る中の寒いスタートでしたが、食事をするころには雨も止み、楽しい一日となりました。

令和2年度 行事予定

● 2020第17回消費者まつり

とき：令和2年5月10日（日）
ところ：四国大学 体育館

徳島市応神町古川字戎子野123番地1

● NPO法人徳島県消費者協会総会

とき：令和2年5月25日（月）
ところ：とくぎんトモニプラザ
(徳島県青少年センター)

● NPO法人徳島県消費者協会創立50周年記念式典

とき：令和2年7月19日（日）
ところ：ホテルクレメント徳島

● 徳島県消費者大学校（募集：60名程度）

とき：令和2年6月13日（土）～8月8日（土）の間8回

ところ：とくぎんトモニプラザ
(徳島県青少年センター)

● 徳島県消費者大学校大学院（募集：3コース計60名程度）

とき：令和2年9月4日（金）～10月2日（金）の間5回

ところ：とくぎんトモニプラザ
(徳島県青少年センター)